

伊藤ひろし県議会報告

発行 / 自由民主党 伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026

習志野市谷津2-1-15

電話047(779)3385

命のまちづくり習志野へ

常任委員会委員長に就任

4月の千葉県議会議員選挙で2期目の選任を頂き、早速6月県議会において、習志野市の安全安心に向けた諸課題の質問や要望ができる登壇の機会を頂きました。また、所属常任委員会(健康福祉行政)では委員長に選出され、医療提供体制、障がい者・高齢者・児童・一人親家庭などの福祉の充実、子育て支援、健康づくりの推進に全力で尽くす決意であります。



「伊藤ひろしホームページ」録画中継あり

「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに活動する私伊藤寛は、持続可能な地球環境・自治体経営、誰もが住みやすいと思うまちづくり、日本のこころを持ち社会で自立できる教育に力を注いでおります。6月定例県議会では、一般質問に臨み、左記について質問しました。

- ① 習志野3河川の災害対策(菊田川、谷津川、高瀬川)
- ② 県立高校の老朽化対策(津田沼高校)
- ③ 下水道施設と水管橋の耐震化(花見川第二終末処理場・対象地域：東習志野、美郷、美郷本郷、泉町、新栄、大久保、本大久保、屋敷、花咲)
- ④ 市内県道の交通安全対策(藤崎小学校付近)
- ⑤ 献血推進(若者層)
- ⑥ 自然環境保育認証制度の推進(幼児期の自然体験)

洪水浸水想定区域 習志野3河川の災害対策

避難行動に優位な河川監視体制の強化

危機管理型水位計や 監視カメラの設置を要望

伊藤ひろし 全国各地で頻発する水害から県民の生命と財産を守るための対策として、避難行動のきつかけとなる河川の防災情報を、県民に的確に、迅速に、そしてわかりやすく伝えることは大変重要であると考えます。

近年、国のプロジェクトとして河川の増水時の水位観測に特化した低コストな水位計が開発され「危機管理型水位計」として全国各地の河川に設置が進んでいる。



↑菊田川に設置完了

千葉県においても、県の管理する河川で「危機管理型水位計」や「河川監視カメラ」の設置が進んでいくが、水位計や監視カメラが設置されていない河川もまだまだ多く、さらなる整備が必要だと考える。

習志野市内の国道14号線から海側の地域は埋め立て地で、地盤が低く、この地域には、菊田川、谷津川、高瀬川という3本の小規模な河川が流れている。これらの河川は千葉県により洪水浸水想定区域が示され、近隣の

住民は常に河川の水位や葛南港の潮位に注意を払う必要があるが、潮位は確認できるものの、河川の水位は確認する手段はないと認識しており、その取組状況が大変気になるところであります。

そこで何う。習志野市内の3河川への危機管理型水位計や河川監視カメラの設置状況はどうか。

県土整備部長 習志野3河川のうち、菊田川においては、想定最大規模の降雨で住宅街の浸水深さが50センチメートル以上想定されることから、今年度、危機管理型水位計を1基設置する予定です。

なお、谷津川、高瀬川については、河川延長が短く流域面積が小さいことや、河川の水位が潮位の影響を強く受けることを踏まえ、潮位計の情報をもとに、現地パトロール等の水防活動を行っています。

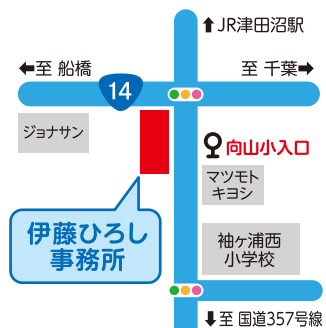
要望 伊藤ひろし 谷津川と高瀬川においても、洪水浸水想定区域が広範囲となっている。住民への避難誘導の判断目安となる水位計や監視カメラの設置など、防災情報の充実に向けて早期に取り組んでいただくよう要望する。

引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛

伊藤ひろしプロフィール

〈経歴〉1975年10月生まれ(48歳)、東海大学付属洋南高校卒(野球部)、東海大学政治経済学部卒(景気観測の研究)、習志野市議会議員(3期)、千葉県議会議員(2期)
〈現職〉健康福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員
〈資格〉中学・高校教員免許、防災士



県立高校の老朽化対策 津田沼高校(市指定避難所)の大規模改修を要望



自席から要望する伊藤ひろし

伊藤ひろし 「千葉県県有建物長寿命化計画」は平成29年に策定され、大規模改修や定期的な点検診断に基づく計画保全を推進すると示されている。建物の目標使用年数を従来の65年から80年へ延長する方針で、大規模改修により80年間施設を使用できるよう対策に取り組むこととされている。

また、計画の対象となる建物は、令和3年3月末現在、1,871棟。対象建物のうち県立高校が、1,116棟となっており、対象建物の約60%を占め、県有施設に対して県立高校の占める割合が大変大きい状況にある。

このような中で、平成30年度から、この長寿命化計画が始まり、現在で5年が経過した。

なかでも、県立高校は、121校もあり生徒の安全な教育環境に向けて計



画的に整備が進んでいるか、また、どのような整備が行われるか、大変気になるところである。

県立高校の多くは、各自治体の地域防災計画において、災害が発生した場合の指定避難所として位置づけられている。

私原地元、習志野市には、津田沼高校と実籾高校の2校の県立学校があり、両校とも、市の指定避難所となっている。

避難所の役割を担い、住民にとっては、この2校の体育館は、市民が一定期間避難生活をするのが想定される重要な施設となる。こうした中で、習志野市内の県立高校2校のうち、建築後の経過年数がより長い津田沼高校は、大規模改修の対象校となっており、その取組状況が大変気になるところである。

そこで伺う。指定避難所になっている津田沼高校に係る長寿命化の取組はどうか。

教育長 津田沼高校の大規模改修は、長寿命化計画第Ⅱ期に位置付けており、本年度から着手し令和11年度までの7年間で、校舎3棟と体育館などを改修することとしています。

本年度は、アスベスト含有調査やコンクリート強度調査を実施するとともに、トイレの洋式化をはじめとする工事内容や工事計画などを検討し、基本設計を進めてまいります。

津田沼高校の体育館は、災害時には市民が避難生活を送る場所となるので、大規模改修において早期の対応を要望する。

県政に関する最近の動向

新病院の整備(千葉市美浜区豊砂)



- ▶ 千葉県総合救急災害医療センターのオープン(11月1日)
 - ▶ 高度救命救急の診療と重症精神科救急患者の対応
- ←千葉県総合救急災害医療センター

県有地の有効活用(習志野市泉町)



- ▶ 物置1棟の解体と土壌調査の実施予定(令和5年度)
 - ▶ 残り物置4棟のうち2棟の解体と土壌調査の実施予定(令和6年度)
- ←職員住宅跡地

近隣市の保育所等利用待機児童の状況

(習志野・八千代・船橋)

令和5年4月1日現在(人)

	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年
習志野市	338	144	89	55	24	16	8
八千代市	107	144	30	31	48	119	45
船橋市	81	95	72	197	12	28	9

▶ 県内54市町村の内、11市が待機児童発生

都市計画道路の整備状況(鷺沼台2丁目から鷺沼2丁目)



- ▶ 令和5年6月県議会で補正予算14億2062万円可決
 - ▶ 令和7年度開通予定
- ←習志野都市計画道路3・3・3号線

若年層に献血推進を

伊藤ひろし 献血の推進は、国、都道府県、市町村、日本赤十字社を始めとする多くの関係者により進められ、献血に協力していただく方やボランティアなど多くの方々のご協力により成り立っている。

この善意の献血により造られた血液製剤で、多くの患者さんが救われたと聞いているが、輸血用の血液は未だ人工的に造ることができず、長期間保存することもできない。そのため、血液製剤を確実に供給するためには、毎日、新しい血液を必要とする。確保する必要があり、多くの皆様の献血への協力が必要となる。

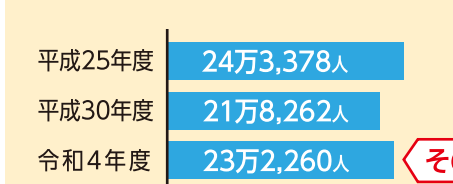
全国的な行事である「献血運動推進全国大会」が来月、第59回大会を、千葉県が開催となり、本県での「献血運動推進全国大会」の開催は、2回目、48年ぶりの開催と聞いている。私は、このたび全国大会が本県で開催されることで、県内における献血運動が盛り上がる契機となればならないと考える。

そこで伺う。献血運動推進全国大会の開催を、日、新しい血液を必要とする。確保する必要があり、多くの皆様の献血への協力が必要となる。

推進全国大会の開催を契機に、献血運動をどのように推進していくのか。知事 献血運動の一層の推進を図ることを目的とした「愛の血液助け合い運動」の主たる行事として、7月26日に、厚生労働省、日本赤十字社及び千葉県主催により、「第59回献血運動推進全国大会」を開催します。

この大会では、献血事業を推進する関係者など、県内外から約1,500名が参加し、献血運動の推進に積極的に協力して模範となる実績を示す。

過去10年の千葉県の献血者推移



若年層の献血が特に減っています
平成25年度と比べて **35%減少**

そのうち10代から30代:7万6,331人

令和9年度には、全国で約507万人の献血者が必要 (※日本赤十字社の血液需要推計・令和元年度)

要望

伊藤ひろし

津田沼高校の体育館は、災害時には市民が避難生活を送る場所となるので、大規模改修において早期の対応を要望する。

要望

伊藤ひろし

千葉県での全国大会開催の効果を一過性で終わらせるのではなく、若年層へ働きかけ、新たな献血経験者の確保の強化を要望する。